

授業科目 相談援助各論 III

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 相談援助における対象を把握する。 相談援助の方法を理解する。 相談援助の内容を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 相談援助の対象を実践的に理解する。 ケアマネジメントを理解する。 グループを活用した相談援助を理解する。 コーディネーションとネットワーキングを理解する。 相談援助における社会資源を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義による学習（以下、同じ）
2	相談援助の対象の概念と範囲				
3	個人と家族の理解				
4	グループについての理解				
5	地域社会についての理解				
6	ケアマネジメントの意義				
7	ケアマネジメントの方法				
8	グループを活用した相談援助				
9	コーディネーションの意義				
10	コーディネーションの方法				
11	ネットワーキングの意義				
12	ネットワーキングの方法				
13	相談援助における社会資源の活用				
14	ソーシャルアクション				
15	まとめ				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	相談援助の理論と方法 II	白澤政和ほか編	中央法規出版	2011	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 期末試験またはレポートによって評価する			【履修上の留意点】 教科書を読了すること		